

みなさんの声を届けてきました

小樽協会病院「分娩」を再開



高橋知事に要望書を渡す道議団（菊地道議：右から2人目）

長らく分娩を休止していた小樽協会病院が今年4月以降分娩を再開することになりました。菊地よう子道議は、道議団と共に知事に申入れ、委員会質問で小樽市のとりくみや住民運動をとりあげ、再開実現のために奮闘してきました。

JR銭函駅バリアフリー実現!!

一次は南小樽駅を早く!!

地域ぐるみの住民要求がついに実現して、銭函駅のバリアフリー工事が完成しました。今度は南小樽駅の実現を一日も早くめざします。



新設されたエレベーターの前で住民のみなさんと

新設の山の手小学校前に手押し信号機が設置されました。日本共産党が菊地道議とともに開校にあわせて実現を求めてきたものです。



新設された手押し信号機の前で

山の手小学校前に 手押し信号機が実現

年間10万人が楽しむ蘭島海水浴場の沖あいのテトラポッドが沈みこみ、かさあげの要望がでています。菊地道議は一住民の安心・安全めざし一海岸保全準備を求めました。



蘭島海水浴場組合長と現地調査する菊地道議

蘭島海水浴場

テトラポッドかさ上げを

日本共産党 北海道議会議員

菊地よう子 道政報告



道議会議員として4年目をむかえました。原発・鉄道・子育て・教育・誰もが安心して暮らせる北海道にとの思いを込めた議会報告です。
みなさんのご意見をお寄せいただき、引き続き議会質問や活動に反映させていただきます。

主な道議会質問と活動

- ・日高豪雪被害への国の支援拡大
- ・保育料負担軽減
- ・不登校児童の学習権保障
- ・新幹線トンネル残土問題
- ・教職員の長時間労働の改善
- ・就学援助の申請簡素化
- ・高齢者施設の火災対策
- ・大規模災害発生時の対策

発行 2018年5月

日本共産党
北海道議会議員 菊地よう子 事務所
〒047-0032
小樽市稲穂1-12-205 ステーションハイツ
TEL:0134-64-5591 FAX:0134-64-5592

公式ホームページ

菊地葉子

「ふんわか菊地葉子」
 菊地葉子

道民の願い実現へ 平和・くらし・福祉守る政治を

オスプレイ訓練中止せよ

安倍政権の下で憲法改正が狙われる中、戦争する国づくりへの地ならしともいえる事態が進んでいます。

昨年8月日米共同訓練で初めてオスプレイが道内を飛行し、夜間訓練も実施しました。菊地よう子道議は道議団とともにオスプレイ訓練中止を求めて知事要請を行いました。



北海道にオスプレイ訓練中止を求める菊地道議（左から3人目）

原発再稼働はきっぱり断念

原発の現地調査もし、本会議・予算委員会などで6回にわたり原発問題で質問。新潟県にならい、福島原発事故の独自調査を北海道としても行うよう知事に求めました。

原発再稼働に反対の道民意思を尊重し、再稼働断念を求めてきました。



施設内の展望室から泊原発を見る菊地道議ら（北海道電力提供写真）

安心して子育てできる地域めざし



委員会で質問する菊地道議



「保育料の軽減を求める父母の会」のみなさんから要請を受け菊地道議（左端）ら

二〇一六年度から遠隔地からの妊産婦健診・出産への助成が実現しました。日本共産党が長い間働きかけてきた成果です。又、北海道独自の保育料軽減がはじまりました。二〇一七年度からは3才未満の第2子以降の保育料が所得制限つきですが無料化となり、菊地道議のこれまでの質問が実りました。



子ども食堂「ポッケの家」で

「鉄道は地域に不可欠」

JR北海道は「単独では持続困難な路線」として道内10路線13区間を発表しました。

菊地よう子道議は、「鉄道の縮小は地域住民と地方自治体の意欲を奪う。どう守り抜くのか」と北海道のローカル線を守るよう高橋はるみ知事に迫りました。



片山健也ニセコ町長と鉄道問題で懇談する菊地道議（左から2人目）ら



放置されたままの日高線を調査する菊地道議（左から2人目）ら



鉄道維持を国に対策要請する道議団（菊地道議：手前左から3人目）